

技術で水資源を保護

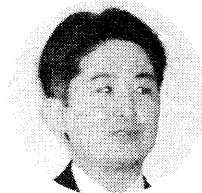
エステム

環境フォーラム開く



東口社長

エステム(東口社長)は6月5日、名古屋市南区・日本ガイシフォーラム・セブションホールで第19回環境フォーラムを開催した。テーマは「青いダイヤ



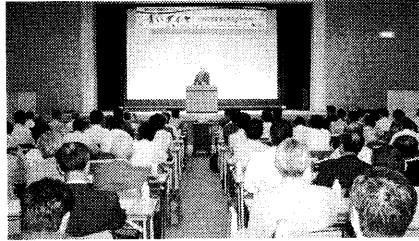
沖教授

「水は人の命に直接関わり、代替ができない。水に関する現在や将来の課題に対して、日常生活でどうすべきかを考えていただきたい」



吉村代表

また、吉村和就グローバルウォーター・ジャパン代表は「水が輝く日本の技術」



水循環の大切さを議論

と述べた。講演では、同社プロジェクトLEAFの西森真紀氏が「エステムの環境文化へのアプローチ」として、同社の沿革や今後の展開などについて話した。

続いて、沖大幹東京大学生産技術研究所教授が「めぐる水と世界」と題して、世界の水需要について説明し、「水は循環資源であり、市民としては、食糧を無駄にしないこと、水の循環を健全に保つこと、水を大事にすることなどをしなければならぬ」と水資源の重要性を強調した。

と題し、「日本の飲料水と衛生状態は世界一。安全・安心」であり、日本の技術力を活かさなければならぬ」と語り、水ビジネスや日本の水戦略の動向について説明した。

この後、沖教授と吉村代表で同社の富山愛氏をコーディネーターに座談会が開かれた。「水の将来とわれわれ日本人の課題とは？」をテーマに、①世界の水問題

でしよう?②河川管理とダム③水道・水産業の民営化④今後どう進むのか?—についての質問に対して、活発な討論が繰り広げられた。